



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校

令和6年度 9月号

校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく かしく たくましく ～

前期後半の始まりです！

44日間の長い夏休みが終わり、今日から学校が再開しました。大きな事故等の報告はなく、無事に過ごせたものとほっとしています。夏休みの間には、子どもたちの生活は、学校から家庭へと移り、家庭や地域の皆様の温かいご支援の下で、様々な経験を通して一人一人成長したことでしょう。

本日より、前期後半開始です。子どもたちは、早く友だちと会いたくて、遊びたくてたまらなかったのではないのでしょうか。学校では子どもたちの声がこだまし、息を吹き返しました。教室で久しぶりに会った子どもたちは、夏休み前までの関係性にスッと戻ってほっとしたり、照れ隠ししたりと様々ではありますが、互いに受け止めあい、友達との会話を楽しんでおりました。

この9月は、子どもたちには前期のまとめの時期として、じっくり学校生活に取り組んでもらえるよう願っております。

いじめ防止サミット開催

8月27日（火）に、市内の全小中学校参加でいじめ防止サミットが開催されました。

今年度は、中学校区別でグループに分かれ、会場となった13か所の小中学校をつなぐオンライン形式で行われました。室田小学校は会場校となり、室田小学校からは4年生2人、松林中学校からは2年生2人、松林小学校からは6年生5人が集まりました。

始めに、オンラインで教育委員会からの「心のコップ」というお話があり、次に香川小学校と松浪中学校の「いじめ防止の取り組みの発表」を聞きました。その後、13か所の学校ごとに、「心のコップ」や「いじめ防止の取り組みの発表」について、『心に残ったこと』『思ったこと』『感想』等、また、『自分の心のコップに水がたまる時はどんなときか』『水をためないために何かしていることはあるか』『友だちのコップに水がたまっていることに気づいたらどんなことをしてあげられるか』『小学校と中学校で協力して取り組みそうな「いじめ防止」について』等の意見を交わしました。各校で出た意見を中学生が中心となりオンライン上で発表しあい、市内全小中学校で共有することができました。本校から参加した2人は、室田小学校での意見交換の場で自分の意見をしっかりと発表しており、とても頼もしかったです。

お話朝会でも、「心のコップ」のお話や、いじめ防止サミットについて紹介しました。室田小学校でのいじめ防止につなげていける機会となりました。